



UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific
国連世界観光機関駐日事務所

2018 年 1 月 17 日

国連世界観光機関（UNWTO）
世界観光指標（World Tourism Barometer）
2017 年 12 月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

（抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。）

<http://mkt.unwto.org/barometer>

PR No.: PR 17134

2017 年 12 月 14 日

**2017 年 10 月までの国際観光の成長は
南・地中海ヨーロッパ、北アフリカおよび中東が牽引**

最新の UNWTO 世界観光指標によると、世界各地のデスティネーション(観光目的地)は、2017 年 1 月から 10 月までの期間に 11 億人の国際観光客を迎え入れた。これは前年同期比 7%、国際到着数では 7,000 万人の増加となる。グローバル経済の好転を反映し、世界各地で国際観光に対する需要が高まっている。

グローバル経済の好転
を反映し、世界各地で
国際観光に強い需要



北半球の夏季ハイシーズンを含む本年のこれまでの観光への強い需要は、10 月まで維持した。世界各地のデスティネーションは、本年 10 月までに 11 億 2,700 万人(+7%)の国際観光客到着数(宿泊を伴う訪問客)を受け入れ、2016 年同期間で 7,000 万人増となった。この結果は、多くのデスティネーションにおける継続した成長および昨年落ち込んだデスティネーションにおける着実な回復によりもたらされた。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific

Silkia Nara 2F, 8-1, Sanjo-honmachi, Nara 630-8122 Japan
TEL +81(742)30-3880 FAX +81(742)30-3883

とりわけ、南・地中海ヨーロッパおよび北アフリカ、中東のデスティネーションにおいて驚異的な強さを示した。南・地中海ヨーロッパの国際到着数では、トルコの急激な回復およびその他の多くの地域での2桁成長により、すべてのデスティネーションで7%を超えた。北アフリカおよび中東では、エジプトおよびチュニジア、パレスチナで過去数年間の落ち込みからの着実な回復が見られ、モロッコおよびバーレーン、ヨルダン、レバノン、オマーン、アラブ首長国連邦ドバイのすべてにおいて持続的な成長が報告された。

12月11-12日にオマーンで開催された「第2回 UNWTO/UNESCO 観光と文化に関する国際会議」において UNWTO タレブ・リファイ事務局長は「ここ数年で最高と言える好調な結果は、グローバル経済の拡大および過去数年間の低迷により苦境にあったデスティネーションの回復を反映したものである」と述べた。

また、同事務局長は「オマーンで開催されるこの重要な国際会議のなかで、私達は観光のリジリエンス（強靱性）を認識するべきである。それは中東における多くのデスティネーションの継続した成長やその他の地域における急速な回復がそれを表している。観光は平和や相互理解の促進を通して地元地域や訪問者に恩恵をもたらすことができる。そして今回の会議では観光を通して文化遺産とその価値に対する尊重を促進することを重点をおいている」と付言した。

地域別結果

2017年1月からの10カ月間、南・地中海ヨーロッパ(+13%)の好調な結果により、ヨーロッパ(+8%)は国際到着数の成長を牽引した。西ヨーロッパ(+7%)は昨年の不調から回復し、北ヨーロッパ(+6%)は堅実な成長を維持した。中央・東ヨーロッパの到着数は、1~10月の間に4%成長した。

「ヨーロッパと
アフリカ(各+8%)は、
国際観光において最速
の成長を見せた」

アフリカ(+8%)は、北アフリカ(+13%)の力強い回復およびサハラ以南地域(+5%)の堅調な結果により、地域別で2番目に早い成長をみせた。

アジア太平洋(+5%)の結果は、南アジア(+10%)および東南アジア(+8%)、オセアニア(+7%)における到着数の堅調な増加により牽引された。北東アジア(+3%)は、2桁成長のデスティネーションがあった一方で、減少したところも見られた。

南アメリカ(+7%)は引き続き、全体で到着数が3%増加した米州を牽引した。中央アメリカおよびカリブ海はともに4%の増加なり、後者はハリケーン・イルマおよびマリアの余波から10月に明らかな回復となった。北アメリカ(+2%)は、地域最大のデスティネーションである米国で落ち込んだが、これとは対照的にメキシコおよびカナダで堅調な結果となった。

中東(+5%)の10月までの実績は、一部のデスティネーションで強い回復を見せたが、その他は持続的な成長を示した。しかし、同地域の平均は到着数の減少したデスティネーションが若干あったことから減少した。

強い回復を見せたブラジルとロシア連邦のアウトバウンド観光需要

2017年のアウトバウンド市場は、ブラジル(+33%)およびロシア連邦(+27%)が過去数年間の低調から回復し、国際観光支出が強固に回復した。

多くの送客市場において持続的なペースでの成長が維持した。送客市場の上位10市場の中では、中国(+19%)、韓国(+11%)、米国およびカナダ(ともに+9%)ならびにイタリア(+7%)が、国際観光支出で最速の成長を報告した。ドイツ、英国、オーストラリア、香港(中国)およびフランスの成長は2~5%の範囲となった。

関連リンク：

UNWTO 世界観光指標（ダウンロードはこちらから）

<http://mkt.unwto.org/barometer>

UNWTO Tourism Highlights 2017

<http://mkt.unwto.org/publication/unwto-tourism-highlights>

Infograph

<http://media.unwto.org/content/infographics>

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年6回を目処に公表されます。国連世界観光機関駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関（UNWTO）について

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関駐日事務所は、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995年に設立され、2012年12月に奈良へ移転しました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

お問い合わせについて

(メディア専用窓口)

UNWTO 本部 コミュニケーションプログラム

E-mail: media1@unwto.org

※UNWTO 本部へ直接、英語でお問合せください。

英語での質問の方法等のお問合せは、

国連世界観光機関駐日事務所にお問合せ下さい。

(一般受付)

国連世界観光機関駐日事務所

(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：吉田、村田

電話：0742-30-3880 Fax：0742-30-3883

E-mail: info@unwto-ap.org